

沼津市

明治史料館通信

2002. 7. 25 (季刊 年4回発行) Vol.18 No.2 通巻第70号

ぬまづ近代史点描 ⑤1

丹那トンネル開通前・後の時刻表

昭和五年十月一日改正				東京・下関間下り列車		附熱海線	
東京	沼津	下関	終着	東京	沼津	下関	終着
御膳場	熱海	沼津	下関	御膳場	熱海	沼津	下関
7:00	7:15	7:30	7:45	7:00	7:15	7:30	7:45
8:00	8:15	8:30	8:45	8:00	8:15	8:30	8:45
9:00	9:15	9:30	9:45	9:00	9:15	9:30	9:45
10:00	10:15	10:30	10:45	10:00	10:15	10:30	10:45
11:00	11:15	11:30	11:45	11:00	11:15	11:30	11:45
12:00	12:15	12:30	12:45	12:00	12:15	12:30	12:45
13:00	13:15	13:30	13:45	13:00	13:15	13:30	13:45
14:00	14:15	14:30	14:45	14:00	14:15	14:30	14:45
15:00	15:15	15:30	15:45	15:00	15:15	15:30	15:45
16:00	16:15	16:30	16:45	16:00	16:15	16:30	16:45
17:00	17:15	17:30	17:45	17:00	17:15	17:30	17:45
18:00	18:15	18:30	18:45	18:00	18:15	18:30	18:45
19:00	19:15	19:30	19:45	19:00	19:15	19:30	19:45
20:00	20:15	20:30	20:45	20:00	20:15	20:30	20:45

「昭和五年十月一日改正 東京沼津間列車時刻表 (附 熱海線・沼津下関間主要駅)」 帝鉄広告社発行 (当館蔵)

東京沼津間列車時刻表				東京・沼津間		下り列車	
東京	沼津	下関	終着	東京	沼津	下関	終着
御膳場	熱海	沼津	下関	御膳場	熱海	沼津	下関
7:00	7:15	7:30	7:45	7:00	7:15	7:30	7:45
8:00	8:15	8:30	8:45	8:00	8:15	8:30	8:45
9:00	9:15	9:30	9:45	9:00	9:15	9:30	9:45
10:00	10:15	10:30	10:45	10:00	10:15	10:30	10:45
11:00	11:15	11:30	11:45	11:00	11:15	11:30	11:45
12:00	12:15	12:30	12:45	12:00	12:15	12:30	12:45
13:00	13:15	13:30	13:45	13:00	13:15	13:30	13:45
14:00	14:15	14:30	14:45	14:00	14:15	14:30	14:45
15:00	15:15	15:30	15:45	15:00	15:15	15:30	15:45
16:00	16:15	16:30	16:45	16:00	16:15	16:30	16:45
17:00	17:15	17:30	17:45	17:00	17:15	17:30	17:45
18:00	18:15	18:30	18:45	18:00	18:15	18:30	18:45
19:00	19:15	19:30	19:45	19:00	19:15	19:30	19:45
20:00	20:15	20:30	20:45	20:00	20:15	20:30	20:45

東京沼津間列車時刻表				東京・沼津間		下り列車	
東京	沼津	下関	終着	東京	沼津	下関	終着
御膳場	熱海	沼津	下関	御膳場	熱海	沼津	下関
7:00	7:15	7:30	7:45	7:00	7:15	7:30	7:45
8:00	8:15	8:30	8:45	8:00	8:15	8:30	8:45
9:00	9:15	9:30	9:45	9:00	9:15	9:30	9:45
10:00	10:15	10:30	10:45	10:00	10:15	10:30	10:45
11:00	11:15	11:30	11:45	11:00	11:15	11:30	11:45
12:00	12:15	12:30	12:45	12:00	12:15	12:30	12:45
13:00	13:15	13:30	13:45	13:00	13:15	13:30	13:45
14:00	14:15	14:30	14:45	14:00	14:15	14:30	14:45
15:00	15:15	15:30	15:45	15:00	15:15	15:30	15:45
16:00	16:15	16:30	16:45	16:00	16:15	16:30	16:45
17:00	17:15	17:30	17:45	17:00	17:15	17:30	17:45
18:00	18:15	18:30	18:45	18:00	18:15	18:30	18:45
19:00	19:15	19:30	19:45	19:00	19:15	19:30	19:45
20:00	20:15	20:30	20:45	20:00	20:15	20:30	20:45

「東京沼津間列車時刻表 (附 御殿場線 伊東線・沼津下関間主要駅)」 昭和十五年五月二十日発行 東京鉄道局編纂 (当館蔵)

表紙の二枚の時刻表は、東海道本線の東京～沼津間を主に掲載したもので、折りたたみ式のポケットサイズである。これらの時刻表が作成された当時は、第二次世界大戦前において、全国的に主要幹線の改良や列車のスピードアップなどが行われ、日本の鉄道が質・本数ともに大きな発達をみせた時期にあたる。

表紙上の時刻表は、昭和五年十月のダイヤ改正時に発行されたものであるが、当時は丹那トンネル開通前であり、東海道本線も国府津～沼津間で現在の御殿場線の路線を通っていた。なお、このダイヤ改正時に、東京～神戸間を結ぶ超特急「燕」の運転が開始されている。

沼津駅は大きな字で表示されているが、これは勾配の急な国府津～沼津間に対応する補助機関車の付け替えのため、ほぼ全ての列車が停車する拠点駅であったことによる。また、国府津～熱海間は熱海線として、東海道本線以外の附としての掲載となっている。

次に、表紙下の時刻表は、昭和十

五年五月に発行されたものであり、昭和九年の丹那トンネル完成に伴う熱海～沼津間の開通により、全通した熱海線が東海道本線となっている。そして国府津～沼津間は、御殿場線として、東海道本線以外の附という掲載となっている。

沼津駅には着と発の欄が設けられているが、これは丹那トンネルの開通に伴い、東海道本線の電化区間が沼津まで延長されたことから、電気機関車と蒸気機関車の交換のための停車時間が長くとられていたことによる。

丹那トンネル開通の前後において、沼津駅は、補助機関車の付け替え駅から、電気・蒸気両機関車の交換駅へとその役割は変わったが、東海道本線における要衝としての地位は変わらなかった。

二枚の時刻表から、東海道本線における沼津駅の重要性、さらには、第二次世界大戦前の陸上交通における沼津の拠点性がうかがわれる。

〔参考文献〕須田寛『時刻表にみる国鉄旅客営業のあゆみ（時刻表復刻版戦前・戦中編）』（一九七八年）

シリーズ

沼津兵学校とその人材

64

沼津勤番組の人のびと

静岡藩の家臣のうち、藩の役職に就けなかった無役の者を、居住地毎に管轄するべく設けられた組織が勤番組である。静岡・沼津・小島・田中・掛川・相良・横須賀・浜松・新居の藩内九箇所に置かれた。勤番組は明治元年（一八六八）十二月に設置されたが、うち沼津勤番組だけは翌二年（一八六九）八月の成立である。それは、沼津移住者が旧幕府陸軍関係者のみから構成されたことに由来する。

旧幕府陸軍関係者のうち、軍事掛や沼津兵学校の役職に就けなかった者は、陸軍生育方（後単に生育方）に組織され、普段は土着地において農業に従事し、戦時においては兵卒として動員されることになっていた。生育方会所は沼津以外にも静岡や田中にもあったが、陸軍関係移住者の多くは沼津に集中していたと思われる。

それが明治二年の藩政改革の結果、陸軍だけの特別扱いが廃止さ

れ、全藩的な勤番組制度に統一されたのである。各所の勤番組の幹部は、頭と頭並である。沼津勤番組の場合、その中が一から十九番までの「頬」に分けられており、各頬には頭取・世話役・世話役介が置かれていた。頬とは、軍事組織内の班・分隊の意味らしい。なお、翌三年（一八七〇）には、頬の頭取は世話役頭取と改称したようだ。

沼津勤番組には、附属の役職として会計掛・名籍掛・俸米掛が数名ずつ置かれており、番士の身分や俸給に関する仕事を担当した。

様々な前歴の者が集った他の勤番組と違い、沼津勤番組は旧陸軍関係者の比重が高かったと思われる。沼津兵学校の修業兵（下士官候補）が勤番組から選出されていることからわかるように、生育方時代と同様、兵学校と勤番組とは密接な関係にあった。勤番組の幹部には、白戸砂（沼津勤番組之頭）や



沼津勤番組八番頭取
小林秀一とその同僚
(小林一之氏所蔵)

小林秀一（旧名昇平、天保2年生、明治22年12月12日没）は、駿東郡中沢田村に移住し、廃藩後は第十七区戸長や第一大区副区長をつとめた。旧幕時代の履歴は不明だが、陸軍の軍装姿のガラス板写真が残されているので、他の勤番組幹部と同様、陸軍士官だったと思われる。



▲渡辺愛四郎の三等勤番組増扶持辞令
(渡辺孝夫氏所蔵)
明治4年(1871)3月



河津祐賢（沼津勤番組一番頭取）のように、旧幕府時代の才能を買われ政府陸軍に招聘された者もあり、兵学校の幹部・教授らと経歴上の違いは少なかった。

とはいえ、沼津勤番組の中にも多様な経歴の持主はいたようだ。以下に由緒書から履歴を紹介する。渡辺愛四郎は、維新の混乱に乗じて新たに徳川家の家臣の列に加わったという、風変わりな前歴の人物である。

渡辺愛四郎（明治三年当時三十七歳）は、甲斐国八代郡市川上野村の神主の弟に生まれたが、元治元年（一八六四）上京、どういふ伝手があったのか一橋慶喜の配下である御用談所頭取川村正平（恵

十郎）の手附に雇われた。禁門の変での戦闘や越前での天狗党鎮撫に従い、大砲組に新規抱え入れられ、慶応二年（一八六六）には慶喜の將軍就任に伴い幕府の撤兵勤方となった。鳥羽・伏見の敗戦後、出張先の長崎から江戸にもどり、彰義隊に加盟、上野戦争では実弟渡辺廣吉を失った。輪王寺宮の逃避行を警護した後、各地を潜伏して駿河にいたり、明治二年二月浜松奉行支配となり、十月には沼津勤番組之頭支配に転じた。翌三年（一八七〇）開墾方附属として遠州に移住したが、すぐに沼津にもどっている。

以上の履歴はすべて彼が明治三年十二月に書いた「由緒書・親類書・家族書」（渡辺孝夫氏所蔵）に記されている。官軍に抗戦したことをも含め、自分が徳川家にいかに尽くしたのかが強調されている。先祖について記した箇所でも、天正十三年「東照神君」が甲州に入国した際に神職に任命されたとしており、徳川家とのゆかりを遠い歴史にまで遡り述べている点も興味深い。
(樋口雄彦)

お知らせ欄

◎企画展「沼津の交通」の開催

鉄道の開通に象徴される明治以降の交通手段の発達は、交通の要衝でもあった沼津の人々の暮らしや産業を大きく変えてきました。

この企画展では、沼津を中心に、人力車・馬車・鉄道・自動車などの陸上交通や、汽船・沼津港などの海上交通に関する資料を紹介し、交通が高速化した現代に至るまでの各種交通機関の移り変わりを振り返ります。

期間：7月2日(火)～9月29日(日)

※10月1日(火)～3日(木)は、

展示替作業のため、4階

展示室のみ閉鎖。

会場：4階展示室

パンフレット：「沼津の交通」、A4

版カラー8ページ、無料

展示構成：以下の内容を関係資料

や写真で紹介しています。

●江戸期の交通

●明治期以降の交通

●人力車 ●馬車

●東海道線の開通

●沼津停車場と機関庫

- 丹那トンネルの開通
- 東海道線の時刻表

●駅の新設

●戦後の東海道線と東海道新幹線の開通

●東海道線と駅弁

●蛇松線と駿豆電気鉄道

●蛇松線（沼津港線）

●駿豆電気鉄道（伊豆箱根鉄道）

●軌道線

●バス（乗合自動車）

●タクシー（貸自動車）

●トラック（貨物自動車）

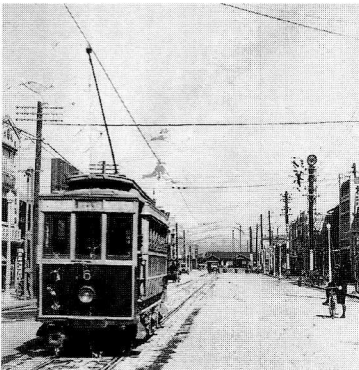
●海上交通

●沼津港 ●西伊豆航路と観光船

●狩野川の架橋

●モーターゼーションと東名高速

●道路の開通



▶沼津三島間路面電車写真(当館蔵)

◎平和を考える親子戦争史跡めぐりの開催

マイクロスバスで市内に残る戦争

関連の史跡を見学します。

日時：8月15日(木)午前9時～

午後4時

対象：小中学生とその保護者

定員：10組20名

集合と解散：明治史料館

費用：無料。弁当持参のこと。

申込み：当館まで電話で。

◎8月21日は無料開館日

静岡県の県民の日・8月21日(水)

は、無料で開館します。

◎古文書解読入門講座の開催

はじめて古文書に接する方を対

象に、初心者向け講座(全5回)

を開催します。

日程：9月1日、8日、15日、

22日、29日の各日曜日

時間：午後2時～4時

講師：久保田富氏(沼津市史編

さん専門委員)

会場：当館講座室

定員：40名

申込み：電話で先着順

費用：無料(辞書代は別)

◎燻蒸実施のため休館します

大切な資料を虫やカビの害から守るため、館内の燻蒸作業を行います。そのため、以下の日程で臨時休館します。

休館日：10月22日(火)～24日(木)

◎沼津市歴史民俗資料館企画展

「石は語る―祈りと想い―」の開催

富士・沼津・三島3市博物館共同企画展。路傍にあり、今もなお人々の祈りを集める石造物をテーマとして、富士・沼津・三島というかつての駿河から伊豆にまたがる地域の人々の祈りや願いの形を紹介します。

期間：7月9日(火)～9月1日(日)

会場：沼津市歴史民俗資料館

(沼津御用邸記念公園内)

休館日：月曜日・祝日の翌日・月の

の末日

問合せ：電話 〇五五―

九三二―六二六六

沼津市明治史料館通信 第70号

編集 沼津市明治史料館
発行

〒410-0051 沼津市西熊堂三七二―一

電話 〇五五―九二二三―三三三五

FAX 〇五五―九二二三―〇一八

http://www.city.numazu.shizuoka.jp/sisetu/meiji/index.htm